

平成29年6月議会

Q 観光交流協会は何するの？

A 交流人口を増やし村の活性化を図る

問

村は観光協会の創設を検討しているようだが、どのような事業を想定しているか。

村長

議員ご指摘のように、観光交流協会の創設の準備をしている。まずは足湯を中心とした観光の可能性を検討する。

問

敬老センターの芝桜が好評だが、芝桜に続く企画はないか。

村長

商工会からのご提案をいただいております、検討を進めます。

問

温泉を一般利用者が何時でも使える施設は出来ないか。

村長

温泉の有効活用に向けて検討課題とする。

問

観光交流協会は、どのように運営するのか。

村長

当面は、役場内に置き職員が兼務する。ゆくゆくは外郭団体として独自に事業を運営する。

問

独自に運営するのであれば
昔は船に乗ってお嫁に来られたそうだが

- ・水郷の地をイメージしたイベント
- ・村の木である桜を観光資源としたイベント
- ・飛鳥独自の清酒等を企画して村民乾杯条例を制定し村民の交流を深める。
- ・レンタル農園企画運営

など考えられるが。

村長

議員から具体的な提案をいただいたので、商工会からあった活性化要望書とあわせて、観光交流協会の設立に向けた準備委員会等で検討する。